

平成30年度 前橋市歯科保健年報からみえた課題

【妊娠期】

出された課題	対応・対策案
妊婦歯科健診の受診時期の周知 (後期受診者が18.3%と多いので 妊娠16週から27週での受診勧奨を)	母子手帳交付時、マタニティセミナー ポスター、チラシでの周知をしていく。

【幼児期】

出された課題	対応・対策案
むし歯保有者平均本数が2歳、3歳になると 増えていく。	1.6歳児健診での歯科指導、1.6歳児健診後 の歯科のフォローしていく。

【学童期】

出された課題	対応・対策案
学年が上るに連れてむし歯や歯肉の炎症が 増加する。	小学生はむし歯予防を中心に「歯と口の健 康教室」を継続する。 中学生は歯周病予防を中心に「歯と口の健 康教室」を開始する。

【青年期・壮年期】

出された課題	対応・対策案
成人歯科健康診査の受診率が低い。	定期受診勧奨を継続して行う。
むし歯や歯周病等である割合が高い。	定期受診勧奨を継続して行う。 かかりつけ歯科医を持つ意義を周知する。 セルフケアの重要性を周知していく。

【高齢期】

出された課題	対応・対策案
高齢化に伴い、フレイルの状態である人の割 合が高まっているが、オーラルフレイルの認 知度が低い。	各教室や地域サロン等での健康教育にて 口腔ケアの重要性を継続して周知してい く。